

事業提案書要約

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	パプアニューギニア独立国
2. 事業名	山岳地域の女性が元気に暮らせる村づくりプロジェクト
3. 事業の背景と必要性	<p>エンガ州は PNG で最も平均標高の高い州である。その中でもライガム郡は都市部から離れた農村部に位置し、地理的要因、医療施設の未整備、社会的要因、住民への情報不足などから、都市部との明白な医療格差が存在する。山間部の村から保健医療施設までの距離は遠く、妊婦や子どもを抱えた母親にとって移動は容易でない。保健医療施設においても、医療資機材や訓練された保健医療スタッフが都市部に集中しがちなため、農村部では患者が施設にたどり着いても十分な診療や出産介助を受けられないケースが多い。また、施設への移動が困難な地域においては、モバイルクリニックを実施することになっているが、様々な要因から実施頻度や内容は十分でない。</p> <p>上記のような環境下において人々の健康状態を向上させるためには、モバイルクリニックを含めた適切な医療サービスの提供と、健康促進・疾患予防などの啓発活動が必要である。</p>
4. プロジェクト目標	活動対象地域の女性が適切な保健医療サービスを受けられる
5. 対象地域	エンガ州ライガム郡
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	エンガ州ライガム郡の全保健医療施設 (1 カ所の郡病院、2 カ所のヘルスセンター (HC)、2 カ所のコミュニティ・ヘルス・ポスト (CHP)、および 9 カ所のエイドポスト (AP) 職員約 30 名、対象地域に居住する住民約 12 万人
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コミュニティ住民の保健に対する知識と意識が向上する 2. 保健医療施設が実施するモバイルクリニックが改善され、機能する 3. 州保健局のマネジメント力が強化される <p><主な活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 村落保健ボランティア (VHV) 育成研修 (事業後半は保健省が主体) 2. 啓発活動教材開発 3. コミュニティのエンパワメントと行政の理解促進を目的としたパートナーズワークショップ実施 4. モバイルクリニック (既存システム) のサービスとシステム改善活動 5. 定期的なモバイルクリニック、健康啓発活動モニタリングの実施 6. 事業内容のパッケージ化 7. 他郡へ向けた成果共有セミナー
8. 実施期間	(西暦) 2018 年 2 月～2022 年 7 月 (4 年 6 ヶ月)
9. 事業費概算額	134,072 千円
10. 事業の実施体制	プロジェクトマネジャー (1 名) がプロジェクト全体の管理を担い、現地業務調整員 (1 名) は各活動の実施調整に直接携わる。カウンターパートであるエンガ州保健局より選出された 1 名をテクニカルマネジャーとして配置、更に 2 名のテクニカルスタッフ (保健医療・研修・地域保健) と共に協働していく。また、日本人短期専門家として現地調査・評価・地域保健 (1 名) を派遣し研修や評価モニタリングの指導およびサポートを実施する。HANDS 東京本部では国内調整員 (1 名) が現地活動を補佐し、機構との連絡調整を担う。
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	認定特定非営利活動法人 HANDS (Health and Development Service)
2. 活動内容	保健医療の人づくりと仕組みづくりを目指し、各国の保健医療改善のためのシステム開発と実践、人材育成、アドボカシーを実施。